

第5章 防災航空隊

1 大分県防災航空隊の運航等について

当県では、阪神・淡路大震災と県内における各種災害を教訓とし、「災害に強い県土づくりと安全対策」を推進するため、防災ヘリコプター「とよかぜ」を導入し、平成9年4月1日に大分県防災航空隊を発足させ、防災ヘリコプターの持つ機動性等を活用し、消防防災活動の迅速化、高度化及び広域化の推進に取り組んでいる。

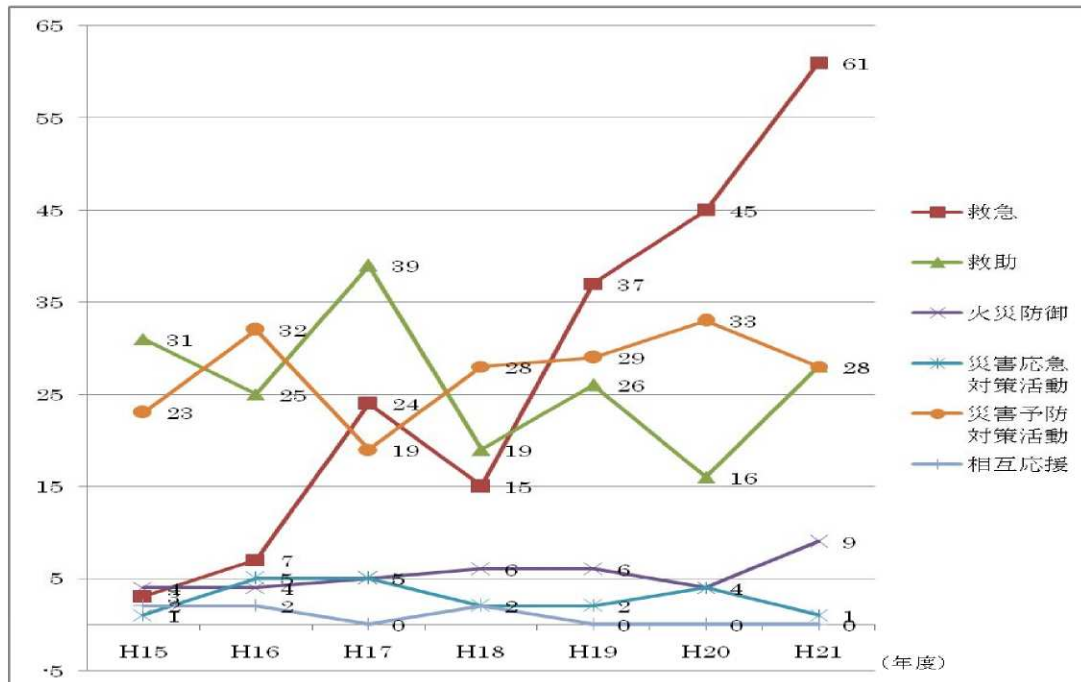
また、日の出から日の入りまでの365日に対応した運航体制の下、公共性、緊急性、非代替性をかんがみ、ヘリでなければ目的を達成できない事案について活動をしている。整備、検査等で運航ができない場合は、平成17年11月1日から相互応援協定を締結している熊本県、宮崎県と相互に応援し、活動を実施している。

2 活動状況について

平成21年度の緊急運航実績は、救急出動61件(前年度比16件増)、救助出動28件(同12件増)、火災防御活動9件(同5件増)、災害応急対策活動1件(同3件減)、災害予防対策活動28件(同5件減)、相互応援活動0件(同増減なし)、合計127件(同25件増)となっている。

その他の活動として、自隊訓練110件(前年度7件減)、一般行政飛行2件(同2件減)、その他テストフライト等15件(同4件減)の活動を実施しており、平成21年度中の活動は、254件(同12件増)となっている。

図5-1 活動実績（緊急運航）の推移



※ 平成18年度以降の救急出動件数には、救助後に救急搬送した件数を含む。

第6章 災 害

1 平成21年中の全国における気象及び災害概況

(1) 気象の概況

- ・ 北日本から西日本にかけては年前半に高温となることが多く、沖縄・奄美では7月から9月にかけて高温が続いたことから、年平均気温も高くなった。
- ・ 1、2月と暖かかったことから、日本海側の地方の降雪量は少なかった。
- ・ 4月は高気圧に覆われて晴れの日が多く、5、6月と低気圧や前線の影響が小さく、東日本海側や西日本では降水量がかなり少なかった。特に西日本では農業用水、工業用水の取水制限などの措置がとられた。
- ・ 北日本から西日本にかけて7、8、11月に日照時間が少なかった。特に7月は記録的に少なく、農作物の生育などに影響し、なかでも北日本では、北海道を中心に、低温・多雨も重なり、影響が大きかった。
- ・ 7月から8月前半にかけ、北日本では低気圧が発達しながら頻繁に通過し大雨となった。7月後半には梅雨前線の活動が活発となり、西日本を中心に各地で大雨となった。特に、7月19日から26日にかけては、中国地方から九州北部地方にかけ記録的な大雨となり、浸水害や土砂災害に見舞われ、「平成21年7月中国・九州北部豪雨」と命名された。また、8月8日から11日かけ、台風第9号が日本の南海上を東進し、日本列島に暖かく湿った空気をもたらし、東日本から西日本にかけ記録的な大雨となった。
- ・ 梅雨入りは沖縄地方から九州南部にかけては遅く、九州北部地方から東北地方にかけては早かった。梅雨明けは、太平洋高気圧の日本列島付近への張り出しが弱く、このため、多くの地方で梅雨明けが遅くなったほか、梅雨明けが特定できなかった地方もあった。
- ・ 10月8日には平成19年9月以来2年ぶりに台風第18号が上陸し、東日本から北日本を縦断、各地で暴風や大雨となった。発生数は22個で平成20年(26.7個)を下回った。接近数は8個と平成20年(10.8個)を下回った。

(2) 地震発生状況

- ・ 平成21年に国内で震度1以上を観測した地震は1,631回(平成20年は1,904回)でそのうち震度5弱以上を観測した地震は4回(平成20年は8回)であった。
- ・ 平成21年に国内で被害を伴った地震は6回(平成20年は8回)であった。(表6-1)

(表 6-1) 被害を伴った地震の概要

番号	発生日時	震央地名	震源の深さ	マグニチュード	最大震度	被害状況
1	5/12 19:40	新潟県上越地方	12km	4.8	【震度4】 新潟県上越市 十日町市 群馬県六合村	【人的被害】 被害なし 【住家被害】 上越市内で軽微な被害が5件
2	6/25 23:03	大分県西部	12km	4.7	【震度4】 福岡県東峰村 大分県中津市 日田市	【人的被害】 被害なし 【住家被害】 一部損壊1棟(中津市)
3	8/11 05:07	駿河湾	23km	6.5	【震度6弱】 静岡県焼津市 伊豆市 御前崎市 牧之原市	【人的被害】 死者1名、負傷者319名 【住家被害】 半壊6棟、一部破損8,672棟 【火災】 建物火災2件、その他火災1件 (平成22年3月12日現在)
4	8/13 07:48	八丈島東方沖	57km	6.6	【震度5弱】 東京都八丈町	【人的被害】 被害なし 【住家被害】 全壊1棟、一部破損2棟 【その他】 落石4箇所、土砂崩落4箇所
5	10/13 18:42	福島県会津	4km	4.9	【震度4】 福島県柳津町	【人的被害】 被害なし 【住家被害】 一部破損38棟
6	12/17 23:45	伊豆半島東方沖	4km	5.0	【震度5弱】 静岡県伊東市	【人的被害】 負傷者7名(伊東市) 【住家被害等(非住家、ブロック塀等含む)】 一部破損278棟(伊東市)
	12/18 08:45		5km	5.1	【震度5弱】 静岡県伊東市	【その他】 商業施設から漏水(伊東市) 道路被害20箇所(伊東市) (平成21年12月25日現在)

2 平成 21 年中の大分県内における気象及び災害概況

(1) 気象の概況

- ・ 年平均気温は平年に比べてかなり高く、年降水量は平年に比べて少なく、日照時間は平年並みであった。
- ・ 大分県を含む九州北部地方の梅雨入りは、平年に比べて 2 日早い 6 月 3 日(平年 6 月 5 日)で、梅雨明けは平年に比べて 17 日遅い 8 月 4 日(平年 7 月 18 日)であった。期間の降水量は平年並みであったが、梅雨前線の影響により 6 月 29 日から 7 月 1 日にかけて激しい雨が降り、30 日は玖珠で日最大 1 時間 56.0 ㎖の降水量を観測し、6 月の日最大 1 時間降水量を更新した。また、大分で 240.0 ㎖の月最大 24 時間降水量を観測し、6 月の月最大 24 時間降水量を更新した。
- ・ 台風については、大分県内を通過(上陸)した台風はなかったが、台風第 9 号と台風第 18 号が接近した際には、台風周辺の湿った空気等が流れ込んで大気の状態が不安定となり、影響を及ぼした。

(2) 地震発生状況

- ・ 大分県内で平成 21 年中に震度 1 以上を観測した地震は 46 回(平成 20 年は 21 回)あった。内訳は震度 1 が 28 回(平成 20 年は 17 回)、震度 2 が 11 回(平成 20 年は 3 回)、震度 3 が 5 回(平成 20 年は 1 回)、震度 4 が 2 回(平成 20 年は 0 回)であった。被害地震は 1 回(平成 20 年は 0 回)であった。
- ※気象の概要及び地震の概要は気象庁資料による。

(3) 大分県内の主な被害の概要

- ・ 平成 21 年 6 月 29 日～7 月 1 日 梅雨前線豪雨
6 月 29 日から 30 日にかけて九州北部付近に停滞していた梅雨前線は、次第に南下し、県内各地に大雨をもたらした。28 日 19 時の降り始めから 7 月 1 日 16 時までの総雨量は、日田市椿ヶ鼻で 517 ㎖、玖珠で 390.5 ㎖、由布市湯布院で 390 ㎖、大分市長浜で 316.5 ㎖、別府で 301 ㎖、杵築で 300 ㎖、国東市武蔵で 285.5 ㎖と各地で 200 ㎖を超える雨量を観測された。
この大雨の影響により日田市で一部損壊 1 棟、床下浸水 1 棟、杵築市で一部損壊 1 棟、日出町で床下浸水 1 棟の被害が発生した。
- ・ 平成 21 年 7 月 20 日～22 日 梅雨前線豪雨
19 日から 20 日にかけて対馬海峡付近にあった梅雨前線は、次第に九州北部付近に南下し、県西部を中心に 100 ㎖を超える大雨をもたらした。
この大雨の影響により、豊後大野市で床上浸水 1 棟、九重町で床下浸水 1 棟の被害が発生した。

- 平成 21 年 8 月 10 日 台風第 9 号

9日15時に日本の南海上で発生した台風第9号は、北に進み、10日9時には中心気圧992hPa、中心付近の最大風速が20m/sで四国の南海上に達した後、進路を北東に変え、10日21時には紀伊半島の南海上に達した。大分県では台風からの湿った空気の流れ込みと日射の影響で大気の状態が非常に不安定となり、発達した積乱雲が発生し、10日の夕方から県南西部を中心に大雨に見舞われ、竹田市会々では18時53分までの1時間に78mmの非常に激しい雨を観測した。10日12時から11日0時までの総雨量は、竹田市会々で153.5mm、豊後大野市温見で121mmであった。

この大雨の影響により、竹田市片ヶ瀬の国道502号線で土砂崩れが発生し、車8台が被災し、8人が軽傷を負ったほか、竹田市で半壊1棟、一部損壊2棟、床下浸水18棟、豊後大野市で床上浸水2棟の被害が発生した。

個別災害状況

番号	災害の発生期間 災害名	被害の種類			摘要
		人的被害	住家被害	項目別被害額	
1	平成21年 1月23日 集団災害事故 (南日本造船事故)	死者 2人 重傷 22人 軽傷 2人	なし	なし	県災害対策本部設置
2	平成21年 6月25日 大分県西部を 震源とする地震	なし	一部損壊 1棟	なし	
3	平成21年 6月29日～7月1日 梅雨前線豪雨	なし	一部損壊 2棟 床上浸水 2棟	農業水産施設 747,185千円 公共土木施設 807,136千円 その他公共施設 2,250千円 その他 11,727千円 計 1,568,298千円	
4	平成21年 7月20日～22日 梅雨前線豪雨 (平成21年7月 中国・九州北部豪雨)	なし	床上浸水 1棟 床下浸水 1棟	農業水産施設 212,834千円 公共土木施設 158,903千円 その他公共施設 65千円 計 371,802千円	
5	平成21年 7月24日～26日 梅雨前線豪雨 (平成21年7月 中国・九州北部豪雨)	なし	一部損壊 1棟	農業水産施設 109,104千円 公共土木施設 1,520千円 計 110,624千円	
6	平成21年 8月5日 日向灘を 震源とする地震	なし	なし	なし	
7	平成21年 8月10日 台風第9号	軽傷 8人	半壊 1棟 一部損壊 2棟 床上浸水 2棟 床下浸水 18棟	農林水産施設 742,110千円 公共土木施設 1,061,577千円 農産被害 1,340千円 その他 2,238千円 計 1,807,265千円	災害対策本部設置市町村 1団体
8	平成21年 10月7日～8日 台風第18号	なし	一部損壊 1棟	農林水産施設 5,056千円 その他公共施設 297千円 農産被害 56千円 計 5,409千円	

平成21年 市町村別主要被害状況

(1) 人的被害

(単位:人)

災害名	集団災害事故 (南日本造船事故)	台風第9号	計
発生年月日	1月23日	8月10日	
(死者)			
大分市	2		2
(重傷)			
大分市	22		22
(軽傷)			
大分市	2		2
竹田市		8	8
計	死者	2	2
	重傷	22	22
	軽傷	2	8

(2) 住家被害

(単位:棟)

災害名	大分県西部を震源とする地震	梅雨前線豪雨	梅雨前線豪雨	梅雨前線豪雨	台風第9号	台風第18号	計
発生年月日	6月25日	6月29日 ~7月1日	7月20日 ~22日	7月24日 ~26日	8月10日	10月7日 ~8日	
(半壊)							
竹田市					1		1
(一部損壊)							
大分市						1	1
中津市	1						1
日田市		1		1			2
竹田市					2		2
杵築市		1					1
(床上浸水)							
豊後大野市			1		2		3
(床下浸水)							
日田市		1					1
竹田市					18		18
日出町		1					1
九重町			1				1
計	半壊				1		1
	一部損壊	1	2		1	2	7
	床上浸水			1		2	3
	床下浸水		2	1		18	21

災害年報〔平成21年〕

機関(所属)名 大分県

災害名		機関(所属)名 大分県					小計	
		集団災害事故 (南日本造船事故)	大分県西部を 震源とする地震	梅雨前線豪雨	梅雨前線豪雨 (平成21年7月 中国・九州北部豪雨)	梅雨前線豪雨 (平成21年7月 中国・九州北部豪雨)		
区分	発生年月日	1月23日	6月25日	6月29日 ～7月1日	7月20日 ～7月22日	7月24日 ～7月26日		
		人的 被害	死者	人	2			
行方不明	人						0	
負傷者	重傷		人	22				22
	軽傷		人	2				2
住 家 被 害	全壊	棟					0	
		世帯					0	
		人					0	
	半壊	棟						0
		世帯						0
		人						0
	一部損壊	棟		1	2		1	4
		世帯		1	2		1	4
		人		2	5		4	11
	床上浸水	棟				1		1
		世帯				1		1
		人				1		1
床下浸水	棟			2	1		3	
	世帯			2	1		3	
	人			3	1		4	
非住家	公共建物	棟					0	
	その他	棟		5	2	1	8	
そ の 他	田	流失・埋没	ha		4.53	4.16	0.96	10
		冠水	ha					0
	畑	流失・埋没	ha		0.81	0.30	0.73	2
		冠水	ha					0
	文教施設	箇所					0	
	病院	箇所					0	
	道路	箇所			28	11	39	
	橋梁	箇所					0	
	河川	箇所			82	24	106	
	港湾	箇所					0	
	砂防	箇所			16	3	19	
	清掃施設	箇所					0	
	崖くずれ	箇所			2		2	
	鉄道不通	箇所			1		1	
被害船舶	隻					0		
水道	戸					0		

災害年報〔平成21年〕(つづき)

災害名		機関(所属)名 大分県					小計
		集団災害事故 (南日本造船事故)	大分県西部を 震源とする地震	梅雨前線豪雨	梅雨前線豪雨 (平成21年7月 中国・九州北部豪雨)	梅雨前線豪雨 (平成21年7月 中国・九州北部豪雨)	
区分	発生年月日	1月23日	6月25日	6月29日 ～7月1日	7月20日 ～7月22日	7月24日 ～7月26日	
	その他	電話	回線				
電気		戸					0
ガス		戸					0
ブロック塀		箇所					0
その他		件					0
火災発生		建物	件				
	危険物	件					0
	その他	件					0
り災世帯数	世帯						0
り災者数	人						0
公立文教施設	千円	() () () () () ()					0
農林水産業施設	千円	() () () () () ()		747,185	212,834	109,104	1,069,123
公共土木施設	千円	() () () () () ()		807,136	158,903	1,520	967,559
その他公共施設	千円	() () () () () ()		2,250	65		2,315
小計	千円	() () () () () ()		1,556,571	371,802	110,624	2,038,997
公共施設被害市町村	団体			10	4	5	19
その他	農産被害	千円					0
	林産被害	千円					0
	畜産被害	千円					0
	水産被害	千円					0
	商工被害	千円					0
	その他	千円			11,727		
被害総額	千円			1,568,298	371,802	110,624	2,050,724
県災害対策本部	設置	1月23日	月 日	月 日	月 日	月 日	
	解散	1月23日	月 日	月 日	月 日	月 日	
災害対策本部設置市町村	団体		団体	団体	団体	団体	団体
災害救助法適用市町村	団体		団体	団体	団体	団体	団体
消防職員出動延人数		157		36	6		199
消防団員出動延人数				69	42		111

災害年報〔平成21年〕

機関(所属)名 大分県

区分		災害名		日向灘を震源とする地震	台風第9号	台風第18号			合計
		発生年月日		8月5日	8月10日	10月7日 ~10月8日			
人的被害	死者	人							2
	行方不明	人							0
	負傷者	重傷	人						22
		軽傷	人		8				10
住家被害	全壊	棟							0
		世帯							0
		人							0
	半壊	棟			1				1
		世帯			1				1
		人			1				1
	一部損壊	棟			2		1		7
		世帯			2		1		7
		人			4		4		19
	床上浸水	棟			2				3
		世帯			2				3
		人			3				4
床下浸水	棟			18				21	
	世帯			18				21	
	人			45				49	
非住家	公共建物	棟		1				1	
	その他	棟		3				11	
その他の	田	流失・埋没	ha		75.50				85
		冠水	ha						0
	畑	流失・埋没	ha		100				3
		冠水	ha						0
	文教施設	箇所						0	
	病院	箇所						0	
	道路	箇所			64			103	
	橋梁	箇所						0	
	河川	箇所			14			120	
	港湾	箇所						0	
	砂防	箇所			1			20	
	清掃施設	箇所						0	
	崖くずれ	箇所						2	
	鉄道不通	箇所						1	
	被害船舶	隻						0	
水道	戸						0		

災害年報〔平成21年〕(つづき)

機関(所属)名 大分県

災害名 発生年月日		日向灘を震源とする地震	台風第9号	台風第18号			合計
		8月5日	8月10日	10月7日 ~10月8日			
区分	電 話						0
	回 線						0
そ の 他	電 気						0
	ガ ス						0
	ブ ロ ッ ク 塀						0
	箇 所						0
	そ の 他	件					
火 災 発 生	建 物	件					0
	危 険 物	件					0
							0
	そ の 他	件					0
り 災 世 帯 数	世 帯			1			1
り 災 者 数	人			4			4
公 立 文 教 施 設	千 円	() () () () () ()					0
農 林 水 産 業 施 設	千 円	() () () () () ()	742,110	5,056			1,816,289
公 共 土 木 施 設	千 円	() () () () () ()	1,061,577				2,029,136
そ の 他 公 共 施 設	千 円	() () () () () ()		297			2,612
小 計	千 円	() () () () () ()	1,803,687	5,353			3,848,037
公 共 施 設 被 害 市 町 村	団 体		1	1			21
そ の 他	農 産 被 害	千 円		1,340	56		1,396
	林 産 被 害	千 円					0
	畜 産 被 害	千 円					0
	水 産 被 害	千 円					0
	商 工 被 害	千 円					0
	そ の 他	千 円		2,238			
被 害 総 額	千 円		1,807,265	5,409			3,863,398
県 災 害 対 策 本 部	設 置	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	
	解 散	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	
災 害 対 策 本 部 設 置 市 町 村	団 体	1 団 体	団 体	団 体	団 体	団 体	団 体
災 害 救 助 法 適 用 市 町 村	団 体	団 体	団 体	団 体	団 体	団 体	団 体
消 防 職 員 出 動 延 人 数		64	8				271
消 防 団 員 出 動 延 人 数		249	163				523